

### 決意を表す新年の抱負 ～夢に向かって今できること～



いつでも見られる場所に

皆さん、こんにちは。日本ではまだまだ寒さの厳しい季節でしょうか。こちらカンボジアでは、朝晩はとても冷え、日中は暑いという気温の変化があり、子どもたちの体調管理に気を付けなければいけない毎日です。

今回のDream通信では、新年を迎えるにあたって子どもたちが書いた抱負と、グループ農作業の様子についてお伝えします。

#### 新年の抱負

2014年1月1日元旦、子どもたちは、今年1年間の抱負を書きました。昨年書いた抱負を確認し、1年間を振り返った後、今年目標を決めていきます。もちろん、小さい子どもたちも職員に相談しながら今年目標を書きました。

子どもたちの抱負の一部を紹介させていただきます。

「授業がない時間も、頑張って勉強します。調理の手伝いをたくさんします。農作業をするときはおしゃべりをしないで働きます。」

—スン・ティダー (小学3年生 女子)

「私は将来学校の先生になりたいです。授業中は、先生の話をよく聞きます。学校では9番の成績に入ります。お姉さん、お兄さんの言うことを良く聞きます。」

—リアップ・マイ (小学5年生 女子)

「授業中は集中し、わからないことがあったら先生や友だちに聞きます。保母さんが働いているときは必ず一緒に働きます。」

—ホン・チャンター (中学2年生 女子)

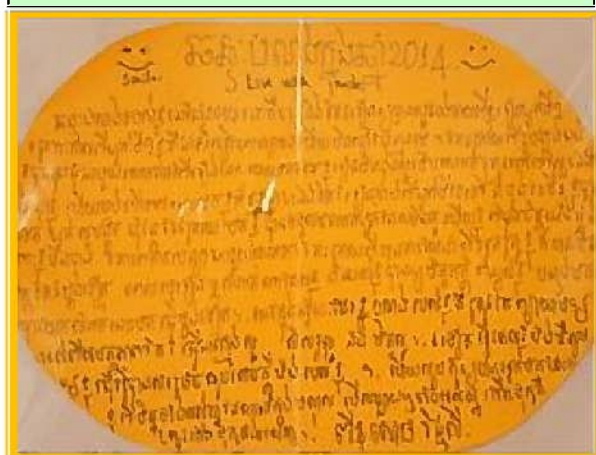
「勉強で良い結果を出せるように頑張ります。小さい子の勉強も見て、わからないところを教えます。」

—スロン・ヴォッティ (高校2年生 女子)

「みんなに好かれ、必要とされる人になるため、能力を高める努力をします。周りの人を尊敬する気持ちを忘れず、言われたことをよく守ります。」

—タン・セラ (中学1年生 男子)

「勉強を頑張り、よくわからないところがあったら何度も練習問題を解き、わかるまで勉強します。自分の悪いところを直



たくさん書いています



他の友だちの抱負もチェック





乾季でも緑がいっぱいの農園



毎日の水遣りが大切



服を濡らしながら頑張っています！



努力の成果に笑顔があふれます

す努力をします。保母さんが注意してくれるとき、口答えをしません。」  
—ダエット・パンナー（中学3年生 男子）

「小さい子どもたちのお手本になり、勉強で困っている友だちを助けます。」  
—チョム・サルーン（高校1年生 男子）

「僕の望みが叶うことを信じます。僕の夢を叶えるため、高校を卒業し、プノンペンの大学に行くことを目指します。」

—ハイ・トール（高校2年生 男子）

これらの抱負は子どもたちがいつでも見ることができるよう、年頭の気持ちを忘れずに、いつでも振り返ることが出来るよう、センターホール脇の壁に掲げてあります。いつでも強い気持ちを持ち、夢に向かい目標を達成していくことが出来る子どもになるために、職員は一丸となってサポートしていきます。

## 農作業

カンボジアの気候は、5月から10月が雨季、11月から4月が乾季と大きく2つに分かれます。乾季には、人が水やりをしなければ、草木はどんどん枯れていきます。そして、雨が一切降らないこの時期の土は非常に硬いです。また、乾季の初めに当たる11月から1月は、朝晩には20度以下に冷え込み、1年で最も寒い時期となります。

そんな中でも子どもたちは、農園の緑を絶やさないよう、乾季にも負けず毎日の農作業を行なっています。

さて、このような気候の移り変わりに合わせ、カンボジアにも日本のように旬の野菜があります。乾季の寒い時期には、白菜、チンゲン菜、レタスなどの葉物野菜が旬を迎えます。11月以降に各グループが競い合うように種を植えたそれらの野菜がただいま収穫の時期を迎えています。しかし、旬だからと言って簡単にできるわけではありません。

葉物野菜は水をたくさん必要とする野菜です。毎日の水遣りは欠かせません。大きな如雨露(じょうろ)に水を一杯に汲み、何度も往復します。小さい子どもたちの中には、往復するうちに自分も水浸しになってしまう子どももいます。

このように大変な乾季の農作業ですが、この時期だからこそ食べられるおいしい野菜に子どもたちは大喜びです。自分たちの畑で採れた野菜を調理担当の職員のもとへ持っていき料理のリクエストをします。苦勞して育てた野菜が実れば、喜び、おいしさも一入です。

カンボジアでの乾季の農作業は特に、地道に頑張った分だけ結果がついてきます。毎日の努力の継続が、大きな実りとなって応えてくれる農作業の経験を通して、子どもたちが豊かな実りを想像し、環境に負けず日々の努力を怠らないことの大切さに気付き、自分たちの将来へ向けて、より一層努力して行って欲しいと願っています。